

# 事業箇所総合評価シート

【担当課:道路建設課】

事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路改良)	路線名等	主要地方道 大和高田斑鳩線
箇所名	北葛城郡広陵町寺戸		

事業の概要	目的	(主)大和高田斑鳩線と広陵町道南2号線は立体交差しているが、取り付け側道は西側のみで東側は未整備である。そのため、町道から県道南行き車線への合流が危険な状況であるため、東側の側道を整備することで、周辺地域から県道への合流の安全性の確保とアクセス性の向上を図る。			
	事業内容	【奈良県道路整備基本計画の位置付け】 「安全安心を支える道路整備の推進」:暮らしを支える交通安全対策 計画延長 : L=0.1km 計画諸元 : 第3種5級 設計速度20km/h 車線数 1車線 事業内容 : 側道整備(1車線)			
	着手年度	平成30年度	完成年度	平成31年度	全体事業費

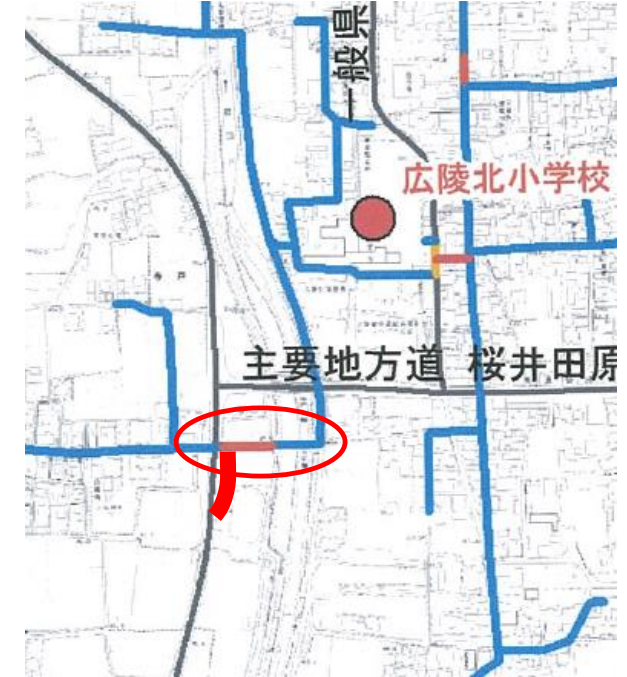
定性的評価	事業の必要性	<b>【必要性】</b> ①周辺地域から町道を経由し県道南行き車線へ合流するには、西側の側道から反対車線を横断して合流することになるため、危険を伴う状況。東側の側道を新たに整備し、周辺地域から県道への合流の安全性の確保とアクセス性の向上が必要 <b>【緊急性】</b> ①平成24年から平成29年までに、当該箇所周辺で4件の事故が発生しており、早期の安全対策が必要 ②広陵町が町道南2号線の拡幅と歩道整備を予定しており、町道整備に合わせて側道を整備し、通学路の安全性の確保が必要
	上位計画等	
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<b>【有効性】</b> ①県道への合流の安全性の確保とアクセス性の向上 ②町道整備と合わせた側道整備による通学路の安全性の確保
	コスト削減への取組み	
	地元情勢等	○寺戸自治会から側道整備や町道整備についての要望書が提出されている(地権者数 3名、3筆)
他計画他事業との関連	○広陵町 町道南2号線 整備事業(平成30年度新規事業化予定)	

評価結果	左の理由
採択	道路利用者の安全・安心の確保及び町道整備との連携から事業実施は妥当である

## 【位置図】



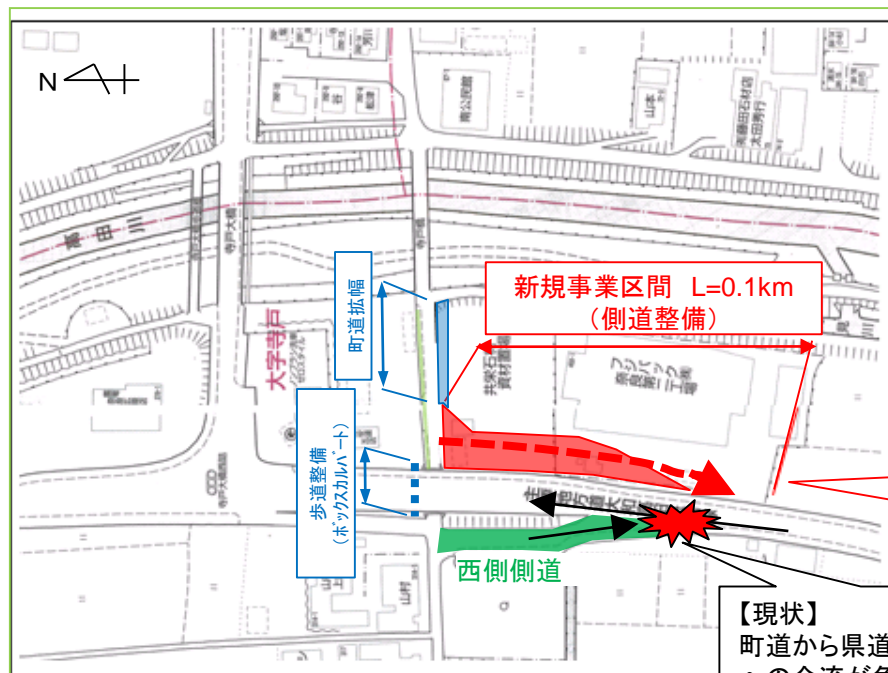
## 【広陵北小学校の通学路図】



## 【期待される効果】



町道から県道への合流(南進)は西側側道(交互通行)からとなっており、危険を伴う状況。東側の側道を新たに整備することで、県道への合流の安全性の確保とアクセス性の向上が見込まれる。



【側道整備後】  
町道から県道(南行き)へ安全に合流できる

【現状】  
町道から県道(南行き)への合流が危険な状況